

## 愛媛県出資法人経営評価専門委員会平成23年度第2回委員会 議事概要

日 時	平成24年3月22日(木) 13:30~14:45
場 所	県議会議事堂4階 文教警察委員会室
出席者	
〔委員〕	上杉委員、岡本委員、丸木委員、山本委員(4名)
〔事務局〕	総務部長、行財政改革局長、行革分権課長、同課長補佐ほか

### 《 開 会 》

#### ○ 委員長あいさつ

#### ○ 議 事

##### ・ 平成23年度2次評価結果について

<各法人の平成23年度2次評価(案)の協議>

事務局から順次説明。

1. (財)愛媛県文化振興財団
2. (財)愛媛県スポーツ振興事業団
3. (財)えひめ女性財団
4. (財)愛媛県廃棄物処理センター
5. (公財)伊方原子力広報センター
6. (財)えひめ産業振興財団
7. (財)松山観光コンベンション協会
8. (財)愛媛県国際交流協会
9. (社)愛媛県園芸振興基金協会
10. (財)えひめ農林漁業担い手育成公社
11. (財)愛媛の森林基金

意見なし。上記11法人、いずれも2次評価(案)のとおり了承。

#### 12. (財)えひめ海づくり基金

##### 【丸木委員長】

ご意見等はございませんでしょうか。

##### 【上杉委員】

議論の過程の中では、仕組債がどういう仕組債であるかということに言及があったと思うが、確かりバースデュアル債だったと思うが。仕組債はいろいろあるので・・・。

**【丸木委員長】**

(委員会の開始前に) 岡本委員からご指摘もあったのですが、貸借対照表の注記情報で「野村証券」と書かれてありますので、表現ももう少し具体性があった方がいいかなと率直なところ思いますね。まあ、それをここでどういう風に表現するか。

まあ、でもより分かりやすく書いた方が、多分、法人にとってもいいと思うんですよ。それで承認を受けたら、担当者は、それである面ではリスクを知ることによって責任を転嫁できるという仕組みですから、それを分からないようにしておけば明らかになった時に、これでは責任が重くなりますよね。

**【上杉委員】**

どういう仕組債か分からないですよ。

**【丸木委員長】**

そこのところまでは、我々もあまり踏み込んでないですよ。ちょっと法人に任せてる状況ですよ。

**【岡本委員】**

あわせ技というか、資産の内訳をあまりしっかり開示してないうえに、自らもHPを持っていないし。問題というか、この法人の財務諸表を見たんですけど、国債はちゃんと国債と書いてある。その他は、野村証券と書いてある。これが、そのリバースデュアル債の部分。その他に持っている資産もアコムの子債であるということで、なかなかこれは寄附行為とかとちょっと微妙にずれていってるかなという不安もありますね。

満期保有目的の債権の半分が仕組債につき込まれてるんですよ。

**【上杉委員】**

当初の趣旨からは大分ずれてると思いますけどね。

**【丸木委員長】**

やはり、ディスクローズしたほうが。少なくとも必要ではないかと思えますけどね。

**【事務局】**

法人の責任を明らかにするという意味でも、どのようなリスクを有する運用、具体的な運用をしているかということが、きちんと分かるような開示のあり方、当然、運用に当たってのリスク管理や認識というものが、もう少し具体的に提示できるような形に修正を。

**【丸木委員長】**

そうですね。そこで、やるとなったら、またそれなりの意見が他方面からいただけ

るかもしれませんし。

**【事務局】**

法人側では積極的な運用によって利益も上げているというようなことも主張はしておりますが、かたやリスクというものは当然あるわけですので。

**【上杉委員】**

当法人の基本財産約25億円の半分は県・市町からの出資金であり、県民の負担であることを踏まえれば、運用リスクに対しては慎重に判断して確実な運用がなされる必要があるのは当然で、ご意見等にありますように、開示に努められたいというところまで踏み込んでもいいのではないのでしょうか。

**【丸木委員長】**

そうですね、おっしゃる通りだと思います。

**【上杉委員】**

「判断と確実な運用がなされる必要がある。したがって、開示に努められたい。」くらいまでは言ってもいいのではないかと思うのですが。少なくとも、これは危ないよということが、出資者の意識の中に出てくるというのは。実際問題何が起こっているか分からないと判断しようがないので。そこまでは委員会としては言い過ぎではないと思いますが。

**【丸木委員長】**

私もそう思います。

**【事務局】**

ここの指摘が、基金としての役員あるいは理事会における慎重な判断でとどまっているので、それに加えて運用の実態というか、開示をするというようなことも含めた修正をしたいと思います。

**【丸木委員長】**

確かに、今の、野村証券（という表現）では。

ご意見いただきましたが、最終的な2次評価への反映等も含めた取扱いについては委員長一任とさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

**【各委員】**

異議なし。

**【丸木委員長】**

ありがとうございます。それではそのようにさせていただきます。

13. (公財)愛媛県動物園協会
14. (財)愛媛県埋蔵文化財調査センター
15. (公財)愛媛県暴力追放推進センター

意見なし。上記3法人、いずれも2次評価(案)のとおり了承。

16. 松山空港ビル(株)
17. 愛媛エフ・エー・ゼット(株)
18. 松山観光港ターミナル(株)
19. 南レク(株)

**【丸木委員長】**

ご意見等はございませんでしょうか。

**【上杉委員】**

基本的に23年度の2次評価なので24年度以降については、盛り込めるところは盛り込んでいいと思います。そういう意味では、いやし博が開催されるので、さらに頑張ってくださいという南レクの評価があるんですけど、今朝の愛媛新聞を見ましたけど、県庁の中の部局の再編成を行って、営業体制が整備されるというのがあるので、株式会社に関していうと、県産品をプロモーションしているような、南レク含めてだと思んですけど、そういうところに、追加されるものであれば追加するというのはやりすぎなんじゃないでしょうか。

いやし博のことが書いてあったので、そう思ったんですが。24年度以降のことですから。

**【丸木委員長】**

もう少し積極的に書くということでしょうかね。

**【上杉委員】**

観光振興もそうなんですが、県内産品もあれでしょう。なんて言えばいいんでしょう。プロモーションですとか、そういう活動に関係することだと思んですけど。FAZとかも含めてだと思んですけど、株式会社であるので利益を追求しても構わないというのもあって、それは県庁の新しい部局との連携というのが、次年度以降のことであって、どちらに向かっていくのか全然分からない段階なのかもしれませんけど。この期に及んでの話ではありますが。でも、今朝発表されていたので。

**【丸木委員長】**

連携を図ってより活性化させるような、そんな感じですかね。県産品を積極的に販売する。

**【山本委員】**

ただ、文言に関して言えば、どれもそうですけど、関係機関との連携をしながら適切に対処ということですから、あまり深く、方向性を決めさせるのではなく、私はこれくらいの文言で何ら問題はないのではないかと思います。

**【上杉委員】**

分かりました。

**【各委員】**

異議なし。

**【丸木委員長】**

ありがとうございます。それではそのようにさせていただきます。

**20. (社福)愛媛県社会福祉事業団**

意見なし。2次評価(案)のとおり了承。

**21. 愛媛県土地開発公社**

**【丸木委員長】**

ご意見等はございませんでしょうか。

**【岡本委員】**

愛媛県土地開発公社の2次評価ですが、「余剰金」ではなく、「剰余金」ではないかと思うんですが。

**【事務局】**

修正します。

**【丸木委員長】**

その他、ご意見等はございませんでしょうか。

**【各委員】**

意見なし。

**22. 愛媛県住宅供給公社**

意見なし。2次評価(案)のとおり了承。

## <平成 23 年度経営評価結果（総括）（案）>

事務局から説明。

### 【丸木委員長】

ご意見等はございませんでしょうか。

### 【岡本委員】

ここに書くほどのことではないんですけど、各法人それぞれホームページを持っているんですけど、ドメイン名というか、プロバイダ名そのままのホームページを持っている法人が多いので、そういうのは年間2～3千円払えば、独自の名前が取れると思いますので、そこはきれいにした方がいいのかなと。

あとは先ほどから出ている開示というか、自分達はこういうことをしていますよというのを積極的に公表、公開してもらわないと。こっそりやられていると印象が悪いというか、せっかく開示するのであれば、きっちり開示してくださいよと。まあ、この文面である程度現れていると思うんですけど。

### 【丸木委員長】

より充実した開示というか、そういうことでしょね。

では、最終的な取扱いについては、委員長一任とさせていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

### 【各委員】

異議なし。

## ・ その他

### 【丸木委員長】

その他、23年度の2次評価を終え、来年度の会議の進め方、各委員から感想や要望等、何でも構いませんので、ご意見ないでしょうか。

### 【山本委員】

よろしいでしょうか。（公益財団法人への移行の）方向性がまだ決まっていないというスポーツ振興事業団と、前回いろいろ問題点があがった廃棄物処理センターです。これについては、2年、要は黒字化できなければ、なくなるということがありますので、ならば来期については、もう少し中身を、前回も議論ありましたが、私達で分からない部分をもっと資料的に出してもらおうという話もあったと思いますので、具体的資料提出をしていかないと、無駄に時間だけが過ぎるように思えてならないです。

是非、中身をもう少し濃く、前回も話があったと思いますので、提出をしていただくと少しでも建設的な意見が言えるのではないかと思います。特に廃棄物処理センタ

一については、廃止になると困るだろうし、かと言って、これからどうなるのかといった判断材料としても、そこは出された方がいいのかなと思います。

**【丸木委員長】**

次年度に向けてということですよ。確かにおっしゃるとおりだと思います。

**【上杉委員】**

廃棄物処理センターですけど、確かに23年度の2次評価ですので、22年度までの確定しているものを基にしてやるというのは分かるんですけど、今日、3月22日ですよ。ということは23年度の活動状況もある程度分かるわけですよ。上半期のものであれば分かっているわけで、この法人に関していうと、非常に債務超過の金額も大きいですし、例えば東日本大震災の結果、瓦礫の処理とかで、何か大きな変化が起きているかも知れないし、いろいろな社会情勢の変化等々が反映されて、法人のビジネス自体が大きく変容するかもしれないと思われるのですが、そういう場合については、ある程度半期とか四半期とかのデータが分かるようになっていた方が、より将来に向けて確実性の高い評価を提供することができるのではないかと思います。

**【丸木委員長】**

分かりました。タイムリーな情報をもっと出していただいた方がいいという。

**【上杉委員】**

それも参考にできるのではないかと。まあ、法人の業務の内容によるんだと思いますけど。

**【丸木委員長】**

特に心配が多いところについては、より直近といいますか、現状を踏まえたものを出していただいた方がよろしいですかね。これも次年度に向けてということでもよろしいでしょうか。

**【上杉委員】**

難しいと思いますが、全部ではなくていいんです。ちょっと問題点の多いところは。

**【岡本委員】**

資産の運用というか財産の運用という部分は、やはり気になるというか。各法人でやられるのは当然なんですけど、ガバナンスというかルール化できているのかどうかとか、そのあたりは。どれがリスクが高くてというのは、我々では判断できないかもしれないんですが、ルール化してちゃんと活動しているかという点は気がかりですね。

**【丸木委員長】**

そういう面では、資産が多いところについては、どういうルールでやっているかということを出していただくという方向がいいかもしれないですね。

**【岡本委員】**

仕組債の話が出ましたが、逆に他の法人がこういうことをやっていいんだという風に思わないように。

**【丸木委員長】**

そうですね。知らなかったということではちょっとショックですよ。確かに、年金資産とかいろいろとありますので。

いろいろと有意義なご意見をいただきありがとうございました。今ほどいただきましたご意見につきましては、事務局等とも相談し、来年度の経営評価を行っていく中で、反映させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

**【各委員】**

異議なし。

**【丸木委員長】**

ありがとうございました。

以上で議事は全て終了しましたので、議事を閉じさせていただきます。

**・ 総務部長あいさつ**

一言御礼のご挨拶をさせていただきます。1年間にわたりまして、各委員の皆様、精力的に各法人ご審議いただき、貴重なご意見を賜りましたこと、御礼申し上げます。

本日は、財務会計や活動情報の開示、資産運用のあり方について、貴重なご意見を伺いましたので、また委員長とご相談させていただいて、最終的な評価の修正をさせていただきます。

また、24年度以降も、新しい行政改革の中で、出資法人の経営評価は一つの大きな柱でございますので、来年度の進め方につきましても、本日いただきました個別の法人、特にご心配をいただいております廃棄物処理センターについて、中身をもう少し詳しく、かつ、タイムリーな情報に基づいて評価いただく、また、資産運用のあり方など、個別で特に問題となっている法人や特に関心が集まっているテーマなどについて、深くご審議いただくような運営方法のあり方についても、工夫をさせていただきます。

来年度におきましても、引き続きご協力を賜りますようお願いを申し上げまして、閉会の挨拶とさせていただきます。

**《 閉 会 》**